ふれあい

題字　辰巳静凡

第100号

発行日　平成26年1月吉日
発行人　大田　和人
東大阪養護老人ホーム　編集委員会
東大阪市新上小阪11−2
東大阪養護老人ホーム　06-6726-3031
E-MAIL　hoy@ace.ocn.ne.jp
http://www.osj.or.jp/higashiosaka/

新年のご挨拶

東大阪養護老人ホーム
所長　大田　和人

当ホームは、平成25年12月1日に上六万寺町から新上小阪地区へ無事に引越しを済ませ、新年を新しい施設で迎えることができました。当初、ご利用者さん方は新しい環境に慣れるまで落ち着かなかったり、とまどったりする場面もありましたが、時間の経過と共にまわりに買い物や散歩にお出かけされたり、新生活を楽しく送れるようになられたと思います。

私たち職員もご利用者さんの居室番号、新しい仕事の段取り、設備や備品の使い方など覚えることがたくさんあり、業務を普段どおり行えるまでに少し時間がかかりました。

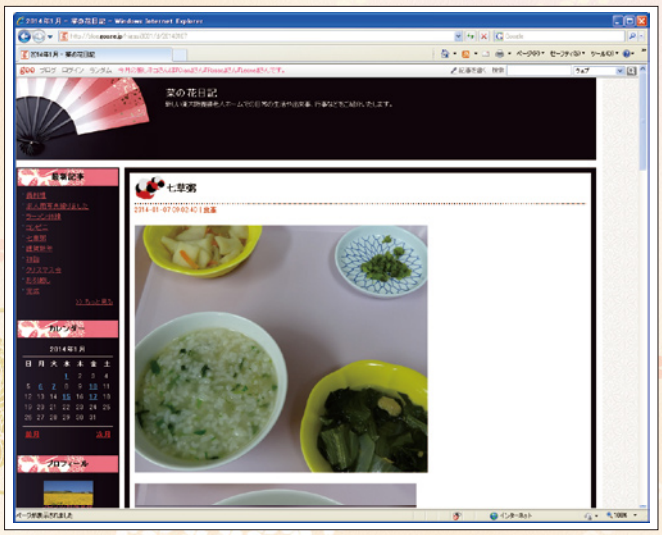
あと、新しい事業としては通所介護サービスと診療所を始め、今後は在宅サービスとして居宅介護事業、訪問介護事業、そして福祉有償運送事業を開始する準備をしています。

また1階の「地域交流スペース」において常設喫茶「花」を営業し、ご利用者さんだけでなく、職員や地域の方々にもご利用していただいています。その他、地域のサークルなどで展示会や教室として活用していただき、ご利用者さんとの交流の場になればよいと考えています。

あと施設が新しくなった機会に、ホームページも新しくし、ブログ「菜の花日記」では日常の生活や出来事、行事などを随時紹介していきますので、またご覧ください。

最後になりますが、新しい地域で生活を始めたばかりで、ご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、地域の一員として交流を図りながら地域に貢献できる施設を目指しがんばって参りたいと思いますので、今後とも当ホームの運営に際しましては温かいご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

菜の花日記URL　http://blog.goo.ne.jp/higasi3031/



引っ越しを終えて利用者の声

新施設での利用者ケア

主任介護職員　庄野　剛史

12月1日に新施設へ移転してきて1か月が経ちました。移転前は多床室でプライバシーの確保が難しい状況でしたが、全室個室になり、皆様お部屋でゆっくりと自分の時間が持てるようになりました。中には寂しいとおっしゃられる方もおられますが、「自分のしたい事ができる」や「自分の部屋があって安心」など話され、喜ばれています。一番の心配が個室になったことでの閉じこもりです。部屋で過ごされる時間が増え、他利用者様との交流が以前よりは少なくなることが考えられるため、クラブや行事の充実など利用者皆様の生活を尊重しつつ他利用者様と交流して頂ける場や機会を提供していけたらと思います。また、移転前の施設とは違って完全バリアフリーになり、段差や階段での躓きなどが少なくなったため皆様安心して過ごされています。施設内事故に関してもハード面だけではなく、個々の状態を考慮したケアを心がけ事故の予防に努めていきます。まだまだ移転して1か月でようやく落ち着きはじめた所ですが、新しい施設だからこそ出来るサービスや行事などを実施していき、皆様により充実した生活を送って頂ける様これからも支援させていただきたいと思います。

東大阪養護老人ホーム診療所 管理医師紹介

東大阪養護老人ホーム診療所
管理医師　原 聡

初めまして。私は原　聡と申します。東大阪養護老人ホームは上六万寺から新上小阪の地に新築移転するにあたり、施設内に診療所を設置することになり、此度縁あって管理医師に着任いたしました。

私は、昭和58年に近畿大学医学部を卒業し、大阪大学医学部麻酔科、大阪府立成人病センター麻酔科で研修しました。その後、近畿大学医学部第一外科学教室に入局し、呼吸器外科を専門としてきましたが、平成18年からは准教授として緩和ケアチーム、緩和ケア室の立ち上げに関わりました。平成25年7月から瓜生堂にて原クリニックを開業し、主に呼吸器内科、肛門科、緩和ケアの診療を行い、がん患者の訪問診療も行っています。

診療所では高齢者に多い高血圧症、糖尿病、認知症などの慢性疾患が診療対象であり、投薬がほとんどですが、採血、心電図検査が行えるようにしています。しかし、レントゲン撮影をはじめとする精密検査や入院が必要な際は近隣の病院に診療を依頼することになります。

看護職員、事務職員とともに入所者の方々の診療、健康維持に努めていく所存ですので、よろしくお願いいたします。

デイサービスセンター「ふれあい」

生活相談員　徳森 祐貴

新年、明けましておめでとうございます。

12月1日より、移転建て替えに伴い東大阪養護老人ホーム　デイサービスセンター「ふれあい」が新事業として始まりました。現在は1日10名の養護老人ホームに入居されている利用者様が利用となっております。将来的には定員数を増やし、地域の皆様にもご利用して頂けるようにと考えております。

デイサービスの取り組みとしては、12月にクリスマス会を行いました。クリスマスソングの合唱やゲームをして楽しんでいただきました。また、ホットケーキにホイップクリームやフルーツを利用者様自身がお好きなトッピングをして召し上がっていただくことで大変喜んでいただきました。

しかしながら、まだまだ職員が不慣れな部分もあります。今後は職員のスキルアップはもちろんですが、利用者様のご意見をお聞きしながら満足して頂けるデイサービスを目指していきます。また、小規模デイの特徴を活かした一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供できるよう、職員一同努めてまいります。

今後ともデイサービスセンター「ふれあい」をよろしくお願い致します。

引っ越しを終えて

主任生活相談員　丸山 浩二

利用者の皆様にとっても、われわれ職員にとっても、待ちに待った新しい施設への引越しが終わり、真っさらのお部屋での新たな生活がスタートしました。

定員150名の個室は、これまでの4人部屋から全室個室へと変わり、共同でご利用頂いていたトイレや洗面所もそれぞれのお部屋に設置して、よりご自分らしく・ご自分のペースでの生活を送って頂くことができる空間へと変わりました。

今後は、訪問介護事業所や居宅介護支援事業所などの在宅サービスの充実を図り、養護老人ホーム利用者のみならず、新しい地域の皆様からも信頼していただける事業所を目指して参ります。

旧施設では、開所当初から植わっていた桜の木を、地域の皆様からも利用者の皆様からも親しんで頂いておりました。装いも新たに再スタートを切った東大阪養護老人ホームは、この新上小阪地区におきましても、皆様からご信頼を頂ける施設を目指して、新たに玄関に植樹したソメイヨシノと共に成長して参る所存ですので、これからもよろしくお願いいたします。

行事紹介

介護職員　山本 麻友美

新施設移転後、初めての行事と致しまして、2013年12月25日クリスマス会が催されました。

サンタクロースと2014年の干支の馬が駆けつけ、利用者様からは「楽しいなぁ」との声があり、移転後初めての行事を、みなさま笑顔で過ごして下さいました。

また新年を迎え、近隣の宝持弥栄神社に初もうでへ行ってまいりました。寒空の中ではありましたが、快晴に恵まれ、「今年も行けてよかったわ」「又、来年も元気で行きたいなあ」との声とともに、みなさま笑顔で参拝しておられました。

今後も、より一層利用者様が楽しんいただける行事を企画させていただきたいと思っております。

苦情解決等に関する取り組みについて

生活相談員　後藤 彰

新施設へ引っ越して来て、新たな事業を開所します。在宅部門では地域の方々にも親しまれる施設作りをしていくためにも、些細なご意見、苦情に対して真摯に受け止め、迅速な対応への取り組みを心がけていきます。

編集後記

主任生活相談員　山脇 竜介

利用者や職員また応援に駆け付けていただいた法人職員、地域の方々のご理解ご協力もあり無事引っ越しも終え、新しい施設での第1回目の広報誌の発行となりました。新事業の開始や準備などまだまだ落ち着いてというわけにはいきませんが今後は地域にも根ざした東大阪養護老人ホームとしていくため施設内外の情報をこの広報誌を通じて発信していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。